

高等学校 令和 6 年度（3 学年用） 教科 地歴 科目 世界史探究

教 科： 地歷

科 目： 世界史探究

单位数： 3 单位

対象学年組：第 3 学年 必修選択選択希望者

教科担当者：必修選択A：佐伯 必修選択B：佐伯

使用教科書：（「高校世界史」（81・山川・世探705）

教科 地歴

の目標：

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主

【 知 識 及 び 技 能 】

体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる世界史的な考え方と基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的現象の歴史的な見方・考え方を深く働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す	我が国と世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	我が国と世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	文明の成立と古代文明の特質について、深い知識を身につけ理解させる	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】狩猟・採集を中心とする獲得経済から、農耕・牧畜による生産経済への多様な発展の仕方を理解する。 【思考・判断・表現】・集住や土器の変化等に着目し新しい社会的関係の成立について理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】神権政治について話し合いよりよいものであったかどうか追求しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	中央アジア・東アジア双方の特質・関係について深い知識を身につけ理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】中国統一王朝について成り立ち・経緯を含め理解する。 【思考・判断・表現】人々の生活と社会の変化を漢民族と周辺諸民族との関係を踏まえ理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】・律令国家制度が人々の生活を安定させるに十分なものであったか主体的に追求しようとしている	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
2 学期	東アジア・東南アジア双方の特質・関係について深い知識を身につけ理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】仏教伝播とインドの王朝の関係、それが及ぼす影響について理解する。 【思考・判断・表現】王朝の仏教保護の影響に着目し美術等にも影響を与えていることについて理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】仏教とヒンドゥ教の存在が人々の生活を安定させるものになったか話し合い主体的に解決しようとしている	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	西アジア・地中海世界双方の特質・関係について深い知識を身につけ理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】地中海世界に関わる歴史について理解するとともにキリスト教の発生について特色を理解する。 【思考・判断・表現】・都市国家ローマについてその成り立ちと実用的知識が生まれ現代にいたることを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】古代ローマの歴史的背景と現代につながる諸問題について主体的に考察している	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
3 学期	近現代の世界の歴史と諸問題について、履修した歴史総合の知識を生かしながら深い知識を身につけさせる	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】世界恐慌の波及を確認し、ナチスドイツの出現・天皇制ファシズム等について深く考察する。 【思考・判断・表現】二つの世界大戦について知識を確認しながら後世に残した影響について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
							105